

施策番号 3-2-2	施策名 快適な住環境の整備	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		
		政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進		
主管課 建設都市整備課	施策関係課 住民生活課	課長名	橋本 直樹	内線	440

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
快適で安全安心な公園などの住環境の整備と適正な公共賃貸住宅の供給をすすめます。		町内の住環境	快適で安全安心な住環境を町民に提供する				町人口の増加と、居住者の快適な暮らし
成果指標	説明	単位	年度(策定時)	28年度	29年度	30年度	
① 芽室町の公園に満足している町民の割合	住民意識調査	%	74.0	73.2	70.8	75.0	
② 居住環境に満足している町民の割合	住民意識調査	%	78.4	73.0	79.2	80.0	
③							
成果指標設定の考え方	①公園に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定 台風被害等により低下しているが、災害復旧及び施設の更新等により75%を目標 ②居住環境に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定 平成29年度の実績が79.2%(向上)であり、平成30年度は各計画の推進により80%を目標						

2. 施策の事業費

	28年度決算	29年度決算
施策事業費(千円)	245,936	293,351
人工数(業務量)	5.6651	5.8125

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成29年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①は前年度より低下 →一昨年の台風災害による花菖蒲園の観賞中止が主な要因 成果指標②は前年度より向上 →公営住宅の長寿命型改善工事が主な要因
②平成30年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①「公園施設長寿命化計画」に基づき施設の修繕・更新・改築を進めることにより、目標達成は可能 ②「芽室町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、長寿命化型改善工事を計画的に進める。また、民間の空き家も居住環境の悪化を招く一因であることから、適切に維持保全がされていない空き家の所有者に対して指導を行うことにより、目標達成は可能
(2) 施策の成果評価に対する平成29年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	限定特定行政庁事務 公営住宅維持管理事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ●「公園施設等長寿命化計画」の推進 →公園の既存施設は、劣化状況等に合わせ計画的に修繕及び更新を進めている。 ●花菖蒲園の復旧 →一昨年の台風で大幅に菖蒲の種類が消滅した。菖蒲の株を購入し、平成29年度から3か年で復旧を目指す。 ●公営住宅の適正な管理 →低所得者への公営住宅の賃貸を維持継続し、必要な修繕を適正に実施することにより快適な住環境を提供している。 ●老朽空き家対策 →町内会に対して空き家に関するアンケートを実施し、把握した危険な空き家の所有者に対して指導を行った。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	≪施策を取り巻く状況≫ ・公営住宅入居希望者の居住環境に対する要望が従前より高くなっている ≪今後の予測≫ ・公園施設が経年劣化していることから、安全安心な憩いの場やコミュニティの場を提供するため、計画的な公園施設の点検による維持管理と修繕及び更新 ・公営住宅等長寿命化計画に基づき、ストックの効率的・効果的維持管理の推進 ・老朽空き家に対する相談件数の増加
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	・公営住宅の適正な整備をさらに推進してほしい ・空き家対策として、リノベーションなど違った側面からの対策を考えてほしい

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たにに取り組むべき課題)

- 課題① 公園施設等の老朽化対策
公園の既存施設は、経年劣化が進んでいることから、「公園施設等長寿命化計画」に基づいた計画的な維持管理と施設の更新を進める。
- 課題② 災害復旧
花菖蒲園の復旧にむけて計画的に進める。
- 課題③ 老朽化した公営住宅の整備
「公営住宅等長寿命化計画」に基づき整備を進め、適正な管理戸数及びトータルコストの削減を図る。
- 課題④ 老朽空き家対策
空き家の戸数は増加することが予想されるため、定期的に調査を実施する。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	公園や公営住宅の整備は計画どおりに進められており、施策として前進していると評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	今後も計画に基づいて適正な管理を進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価と同じく前進していると評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	公園の鉄棒に逆上がりの練習を補助をする器具があると、親子で足を運ぶ機会も多くなるのではないかと。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				